

ロシア（極東）

極東経済の回復傾向は若干弱め

ロシアは2000年に7.7%の経済成長を達成するなど、改革開始以降で最良の年となった。極東経済も総体的には前年から続く経済の回復傾向を維持しているものの、ロシア全体の活況に比べると若干弱い。

生産面では、鉱工業生産の伸びが全国値を下回り、農業生産はマイナス成長となった。鉱工業生産では、年後半に成長鈍化が見られ、各地方とも軒並み年間の伸び率が上半期に記録した対前年同期比増加率を下回る結果となった。

小売売上高、対住民サービス売上高ともに、対前年比で増加しているものの、その増加率は全国値を下回っている。現地の専門家は、極東の消費動向が弱いのは、貯蓄性向の高まりなどによるものと見ている。極東ではロシア全体に比べて、給料遅配問題の改善が遅れていることが、直接的あるいは心理的消費抑制要因となっているのではないかと見ている。

一方、対外経済面は好調で、極東ザバイカル地域の貿易額は前年の約1.4倍、35億ドルに達した¹。輸出は1.8倍の増加、輸入は約20%減で、黒字は20.6億ドルに拡大した（前年は6.4億ドル）。

漁獲割当に入札制度導入

かねて密漁・密輸が問題となっていた水産業で、ロシア政府は2001年から漁獲割当の入札制度を導入した。制度導入にあたっては、割当が有償となることで操業コスト増となる漁業関係者の反対が大きかった。しかし現実には、2月中旬以降4月末までに計8回の入札が大きな混乱なく行なわれており、制度として定着し始めているようである。ただし、これで密輸が減少する保証はなく、また水産業者の経営に対する影響の大きさなど不透明な点も多く、今年1年間の実績次第では制度の大幅見直しもありえよう。

なお、日本を含む外国企業もロシア経済水域で操業する

にはこの入札を通じて漁獲割当を得る必要がある。その仕組みは、ロシア国内業者だけを対象とした入札で落札されず残った枠を、約1ヶ月後に内外企業に門戸を開いた再入札にかけるという形である。獲得できる枠が少ないことや出漁時期が遅れることなどから、北海道の漁業関係者などはこの新しい制度に不満をもっている。

サハリンプロジェクトの動向

サハリン大陸棚の石油・ガス開発では、サハリン1～3までの3つのプロジェクトが進行中である。最も進んでいるのがサハリン2プロジェクトで、1999年から原油の商業生産を開始し、2000年の産油量は約170万トンであった。これは、前年の10倍以上、2000年のサハリン州の産油量の約半分に相当する。

サハリン州への外国投資は前年の4分の1となったが、そのほとんどがサハリンプロジェクト関連であることは変わらない。サハリン2は、サハリン島南部にLNG（液化天然ガス）基地を建設して、アジア諸国等に輸出する計画を持っており、2001年にはLNGプラントやパイプライン設計等も含めて約5億ドルを投下する予定と伝えられている。

これに対して、試掘段階でロシア政府との調整に手間取るなどして商業生産開始が遅れているサハリン1では、2001年の事業費は1億5000万ドル程度にとどまる模様である。なお、今年2月には、インド企業がサハリン1の権益の20%を取得した。このことは、サハリン1のマーケット戦略に有利に働くものと思われる。また、サハリン1関係者はサハリンから日本への海底ガスパイプライン建設の可能性を探っており、これまでに技術的には可能との判断を示している。2001年には、整備すべき法制度や採算性の検討などが進められる予定である。

(ERINA調査研究部研究員 新井洋史)

	鉱工業生産 [2000年] (対前年比、%)	農業生産 [2000年] (対前年比、%)	小売売上高 [2000年] (対前年比、%)	消費者物価 [2000年12月] (前年同月比、%)	外国投資 [2000年] (百万ドル)	参考:地域総生産 [1997年] (対全国比、%)
サハ共和国	6.2	2.7	▲0.7	17.4	159.6	1.29
沿海地方	2.0	▲7.3	2.9	19.0	78.1	1.32
ハバロフスク地方	14.6	▲1.4	4.0	19.9	27.2	1.36
アムール州	10.4	4.3	2.1	18.0	4.5	0.68
カムチャッカ州	4.5	6.0	▲2.8	24.3	29.4	0.35
マガダン州	0.8	▲15.7	▲0.2	18.3	27.7	0.28
サハリン州	9.0	▲9.1	16.4	15.6	250.6	0.58
ユダヤ自治州	12.5	▲6.4	9.4	16.9	0.1	0.06
チュコト自治管区	7.3	—	▲18.2	19.7	0.0	0.10
極東	6.8	▲0.2	2.8	—	304.7	6.01
ロシア連邦	9.0	5.0	8.9	20.2	10,958.0	100.00

出所:ロシア国家統計委員会「ロシアの社会・経済情勢2000年12月」、「同2001年1月」、「ロシアの地方1999」

¹ 極東ザバイカル協会がとりまとめた暫定値による。